



「Gift 環境という贈り物」と題して、おもちゃデザイナーの相沢康夫氏より環境を通した保育の意義やその考え方について学びました。また積み木ショーでは実際に保育で使われている積木を使って、子どもたちの新たなアイデアを学んだり、保育者自身も夢中になる時間となりました。



「遊びを深める異年齢保育」をテーマに、なごみこども園の志賀口大輔氏より、保育の世界的潮流や現指針を踏まえて、幼児の遊び環境や異年齢保育について学び、考えました。



「私の園の環境的工夫」～事例から学び合う～

ひので保育園（熊本県）、多気の杜ゆたか園（三重県）、あかつき保育園（佐賀県）、星の子保育園（滋賀県）からの実践報告とワークショップを通して、他園の実践に触れたり、保育環境について考え語り合いました。自園の実践や環境を振り返ったり、他園の工夫から示唆を得たりと、保育者の先生たち同士で学びの多いワークショップとなりました。

